

## 一般社団法人「うくみらい」 設立のごあいさつ

一般社団法人「うくみらい」（仲間浩一理事長）が本格的な活動を始めます。2024年6月の発足以来、地域活性化を目的に、活動準備を進めてきました。島の未来に貢献できるよう尽力してまいりますので、島民の皆様のご理解とご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 代表理事 仲間浩一（元九州工業大学教授、元台南応用科技大学専技副教授）

私たちはメガソーラー事業の売電益の一部を事業者から寄付として受けとり、島の方々や多様な専門家と話し合いながら地域活動を支援して地域社会に幅広く持続的に貢献することを目的とし、一般社団法人「うくみらい」を設立しました。

これから私たちは、島の内外の方々や、暮らしと動植物のよき関係を創り出す決意を持ち、歴史と風土の尊重、島の方々の暮らし、まちづくりと環境保全という3つの視点を大切にしながら、託された売電益を活用した取り組みを進めます。



### 顧問 田中文明（元宇久町長）

毎年人口減少が続いております宇久町では、皆様のお知恵とそれを実行する予算が必要です。

長年、行政に勤務していた経験で、この法人の活動に貢献をという気持ちを固めました。行政では手の届かない谷間に光をと思うのであります。地域社会の福祉の確保向上に「うくみらい」の役員一同「上下一心」になって尽くしたいという気持ちです。

今後、私共の活動が多くの住民の方に容認していただけるレベルの成果を挙げることを目標として精一杯奮闘してまいります。



## <うくみらいの3つの活動>

豊かな生活の実現と地域文化の振興

学びの機会提供と交流の活性化推進

宇久島のブランド化の推進と移住の促進

「宇久島みらいエネルギー合同会社」では、太陽光発電事業による売電収入の一部を活用し、宇久島の振興と持続可能な地域づくりを目的とした「基金」の創設を予定しています。

この基金は、一般社団法人「うくみらい」が管理・運営を行い、地域の声を反映しながら、具体的な活用方法や支援内容を関係者と協議のうえで決定してまいります。

役員一覧（代表理事）仲間浩一（理事）川原信人 酒井幸作 網田利一郎 井原恒司 板谷晋嗣  
（監事）大田洋子 兼平徹成（顧問）田中文明

## 新事務所で設立報告会を開催

一般社団法人「うくみらい」は、設立登記から1周年を迎え、8月8日に宇久行政センター前に新たに開設した事務所において「活動報告会」ならびに「事務所開設報告会」を開催いたしました。

当日は、島内各団体の関係者や地域を代表される方々にご臨席いただきました。仲間浩一代表理事が、活動理念や今後の取り組みについて説明。続いて、島内で子どもたちに剣道指導を続けておられる出崎忠幸氏をお迎えし、これまでの活動や地域への思いについてご講演いただきました。

新事務所には、冷暖房設備のほか、プロジェクターや音響機器を備え、今後はWi-Fiも設置予定です。

また、来訪者にはコーヒーやお茶のサービスもご用意。打ち合わせやWEB会議をはじめ、地域の集まりやイベントにもご利用いただき、地域の交流拠点として開放してまいります。



## 専門家を招き、野外観察会 宇久高校

宇久高校は7月29日、島内で野外観察会を開きました。島の生物環境に詳しい専門家、中原泰彦博士を招き、参加した生徒は、珍しい生物を採取しながら、島の自然と触れ合いました。

生物観察を通じて、宇久島の魅力を知ってもらおうと初めて開催。地域活性化を目指す一般社団法人「うくみらい」が協力しました。

夏休み中にもかかわらず、当日は、1年生6人が参加。まずは教室で、中原さんから、宇久島の生物環境について、島の固有種が存在することや、逆に本土では普通に見られる生物が発見されていないことなど話を聞きました。

その後、野外に出て、島内3カ所で、水生生物や植物などを採取し、中原さんから、詳しい説明を受けました。

最初は戸惑い気味だった生徒らも、次第に目を輝かせ、中原さんに積極的に質問するなど、生き生きとした様子でした。



## 最新情報はホームページをご覧ください

詳しい活動内容のほかに、島の日常を発信する「しま日記」、海や山の幸を使った料理を紹介する「うくごはん」、島の美しい風景をつづる「宇久島アーカイブ」などを掲載しています。

